

# 2023 年度事業報告

## 事業の概況

今年度においては新型コロナウイルス感染症が収束し、以前の生活様式を取り戻した一年となり、当協会においては認定された公益目的事業を継続し着実に実施した。また、協会運営についても円滑に実施することが出来た。

当年度に行った事業の概況は次の通りである。

### I 公益目的事業部門

#### 1. 糖類に関する正しい知識の普及・啓発のための事業及び食の安全を基本とした食育推進事業

##### (公益目的事業 1)

- (A) 業界最大手(株)ホームメイドクッキングの料理学校を媒体とした普及・啓発事業  
全国直営校 56 教室、指定校（自宅で料理教室開催）50 教室、親子料理教室 56 教室の合計延 255,289 名の受講者に対し、当協会の講師（医学・農学博士）によるセミナーを通して糖類の正しい知識を身につけた専任講師が、通常の料理教室と食文化講座及び親子向け食育講座等に於いて、全国展開により普及・啓発事業を実施した。

イ. 東日本直営校 28 教室 135,605 名（当初計画 135,590 名）

ロ. 西日本直営校 28 教室 109,612 名（当初計画 109,610 名）

ハ. 指定校 50 教室 9,000 名（当初計画 9,000 名）

ニ. 親子料理教室 56 教室 1,072 名（当初計画 1,036 名）

上記の普及・啓発活動が各料理教室の受講者に有効に実施されているかを調査・指導のために協会職員が順次全国の料理教室に出張して実地見分した。

##### (B) 糖類セミナー事業

セミナー開催にあたっては各都市の地元ラジオ局と連携を取りながら、広く募集告知を行い開催した。セミナーでは講師（医学・農学博士）と参加者の間で質疑応答や意見交換を行い糖類に関する正しい知識の理解を促進した。

セミナー終了後にアンケート調査を実施し、参加者の啓発効果を確認した。

また、「人生 100 年時代」を知性や教養を更に磨き、毎日の生活をより健康で充実したものにするために「食・健康・医学・知識・教養等」の幅広いテーマでセミナーを開催した。

<糖類セミナー>

※講演テーマ「砂糖と健康セミナー」

イ.2023年9月20日 札幌市 後援 株式会社STVラジオ

応募者 242名 参加者 99名 アンケート回答者 95名

ロ.2023年10月24日 福岡市 後援 RKB毎日放送株式会社

応募者 150名 参加者 96名 アンケート回答者 91名

ハ.2023年11月16日 東京都 後援 株式会社ニッポン放送

応募者 694名 参加者 216名 アンケート回答者 207名

<食育・知識・教養セミナー>

イ.2023年5月18日 東京都 講師・瀬古利彦氏

講演テーマ「心で走る～マラソンリーダーからの提言」

応募者 457名 参加者 135名

ロ.2023年7月14日 東京都 講師・辛坊治郎氏

講演テーマ「明日を読む～正しい判断は正しい情報から」

応募者 2,190名 参加者 152名

ハ.2024年1月24日 東京都 講師・真中満氏

講演テーマ「前進するマネジメント」

応募者 218名 参加者 131名

(C) 全日本小学生ドッジボール選手権大会協賛による普及・啓発事業

未来ある子供達の心身の健全育成を目的とした、全日本小学生ドッジボール選手権、夏・春の大会に協賛した。

上記の予選及び全国大会の参加者、その父兄及び観衆に対し職員が出張して、横断幕「砂糖は脳と体に大切なエネルギー」、パンフレットにより普及・啓発事業を実施した。また、全国大会出場チームの選手に対しアンケート調査を実施した。

主催：一般財団法人日本ドッジボール協会

後援：スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会

<夏の大会>

開催都市 茨城県水戸市

参加都道府県数 44 県 参加チーム数 48、参加人数 3,000 名

(県予選参加チーム数 789、観客数 15,780 名)

<春の大会>

開催都市 福岡県福岡市

参加都道府県数 44 県 参加チーム数 48、参加人数 3,000 名

(県予選参加チーム数 815、観客数 16,300 名)

2. 糖類に関する調査研究活動に対する助成及び糖類に関する公益活動を行う団体への助成事業

(公益目的事業 2)

- (1) 千葉大学 大学院 園芸学研究院 准教授 土肥博史氏  
「簡便なブドウ糖の高付加価値化：N-アセチルマンノサミンの簡易合成法の開発」
  - (2) 大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座 講師 後藤孔郎氏  
「フルクトース摂取による腸内細菌の二次代謝産物を介した認知症予防に関する検討」
  - (3) 明治大学 農学部 農芸化学科 専任准教授 小山内崇氏  
「温泉藻類の耐熱性アミラーゼの生化学解析」
  - (4) 摂南大学 薬学部 微生物学研究室 講師 桑名利津子氏  
「プロバイオティクス細菌芽胞における糖と人口甘味料の発芽解析」
  - (5) 東京理科大学 理学部第一部 応用化学科 教授 古海誓一氏  
「多糖系バイオマスを用いたサステナブルな色材の創製」
  - (6) 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科 専任講師 岡田光貴氏  
「潰瘍性大腸炎の重症度と糖類摂取との因果関係の解明」
  - (7) 東京理科大学 工学部工業化学科 講師 上谷幸次郎氏  
「多糖ナノ繊維をマトリクスとする高放熱切り紙材料の開発」
- 上記に対し助成し、資料収集等に協力した。

3. 糖類に関する情報の収集、整理、提供事業

(公益目的事業 3)

公益委員が中心となり収集を行い、知識を高め助成事業等の審査に活かした。

4. 学芸員等を含む専門委員会で選定した特定美術品の展示、公開及び官公庁等の美術館への貸出しにより、広く国民の文化の発展に寄与する事業

(公益目的事業 4)

(1) 特定美術品の貸出

(1) 貸出先 徳島県 相生森林美術館

会 期 2023年4月22日～6月11日

展覧会名 相生森林美術館春の企画展「昭和の日本洋画展」

貸出点数 61点

入場者数 1,623名

- (2) 貸出先 福島県 伊達市梁川美術館  
会 期 2023年7月8日～8月13日  
展覧会名 「日本近代洋画ってなに？糖業協会コレクション展」  
貸出点数 32点  
入場者数 815名
- (3) 貸出先 埼玉県 城西大学水田美術館  
会 期 2023年9月4日～10月13日  
展覧会名 「煌めきの日本近代洋画展-糖業協会コレクションで出会う名品-」  
貸出点数 56点  
入場者数 617名
- (4) 貸出先 岡山県 勝央美術文学館  
会 期 2024年2月10日～3月10日  
展覧会名 「赤堀佐平生誕120年記念展」  
貸出点数 20点  
入場者数 513名
- (5) 貸出先 白日会（国立新美術館）  
会 期 2024年3月21日～4月1日  
貸出点数 中澤弘光作品「紀州潮岬」1点  
入場者数 17,185名

## II 収益事業部門

会館及び施設の管理運営並びに賃貸を行う事業

(収益事業1)

- (1) 精糖工業会より談話室と小会議室を賃借したいとの申入れがあり検討した結果2023年5月1日付で貸出すこととした。また、更に財務体質の強化をはかるために協会スペースの新たな貸出先の検討を開始した。
- (2) ビル管理、維持の合理化により更なる経費圧縮に努めて、本事業の費用対効果を高めることに努めた。

## III 管理部門

### 1. 会報の発行

協会の公益目的事業や主催行事の趣旨徹底を図るため、また、会員相互の情報交換の場・交流の場として会員をはじめ協会の関連団体に向けて年4回（定期8月・2月、特別号7月・12月）発行した。

2. 情報機器による事務の合理化等により、適切な運営・管理を行うと共に、引き続き経費の削減に努めた。

## 協会運営に関する事項

### 1. 社員総会

2023年6月23日午前11時より、当協会会議場に於いて、第12回社員総会を開催（出席正会員195名/正会員総数280名）次の議案を付議した。

第1号議案 2022年度事業報告並びに2022年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書並びに財産目録承認の件  
原案の通り承認可決した。

第2号議案 理事8名選任の件  
原案の通り承認可決した。

第3号議案 監事1名選任の件  
原案の通り承認可決した。

報告事項 ①2023年度事業計画書並びに収支予算書（正味財産増減予算書）について説明・報告があった。  
②糖業会館協会スペースの有効活用について説明・報告があった。

### 2. 理事会

当年度中11回開催し、総会提出議案のほか、「公益社団法人」の事業運営に関する諸案件をはじめとする当協会の主要業務につき審議、決定した。

### 3. 専門委員会

#### (1) 会員委員会（委員長 矢田理事ほか5名）

当年度中2回開催（内1回は書面審議）し、会員の入会申込者の選考について審議し理事会に答申した。

#### (2) 公益委員会（委員長 村上理事ほか7名）

当年度中2回開催し、公益事業関係予算、公益事業計画等を審議し理事会に答申した。

#### (3) 行事委員会（委員長 永井理事ほか6名）

当年度中2回開催し、行事関係予算、協会行事の計画等を審議し理事会に答申した。

#### (4) 美術品委員会（委員長 小谷理事ほか5名）

当年度中2回開催し、美術品関係予算、官公庁等の美術館への貸出等につき審議し理事会に答申した。

4. 登記及び監督官庁への届出事項等

- (1) 2023年6月29日、2022年度の事業報告等に係る提出書類を内閣総理大臣宛提出した。
- (2) 2024年3月27日、2024年度の事業計画書等に係る提出書類を内閣総理大臣宛提出した。

5. 会員入退会者数（2023年4月1日～2024年3月31日）

入会	法人正会員	0社
	個人正会員	8名
	個人賛助会員	0名
退会	個人正会員	18名（内死亡1名）
	個人賛助会員	5名

6. 会員数（2024年3月31日現在）

法人正会員	16社（前年3月末16社）
個人正会員	262名（前年3月末272名）
個人賛助会員	30名（前年3月末35名）
会員総数	308名（前年3月末323名）

以上